



2010年5月28日

各 位

会 社 名 東 芝 テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 取 締 役 社 長 鈴 木 護
(コード番号 6588 東証第1部)
問 合 せ 先 総 務 部 業 務 ・ 広 報 室 長
村 川 雅 彦
(TEL 03-6422-7009)

中期経営計画(2010～2012年度)について

東芝テックグループは、前回の中期経営計画に基づき、「強靱な利益体質の構築」と「脱不況時のグローバル成長戦略の展開」を目指し、販売・サービス効率の向上と競争力ある新商品の企画・開発など諸施策を実施してまいりました。その結果、2009年度は、世界的な景気悪化による市場低迷や為替の影響などにより売上高は、前年に対して大幅な減収となりましたが、コスト構造改革等による収益力強化に取り組んだ結果、当期純利益は大幅に改善をいたしました。

この度は、更なる事業の発展に向け、2012年度を最終年度とする当グループの中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

本計画の実行により2012年度には、連結ベースで売上高 4,500億円、営業利益 225億円の達成を目指してまいります。

中期経営計画の概要については以下のとおりであり、詳細については添付資料を参照願います。

I. 経営方針

①新商品・新サービスによるソリューション提案力の充実

- ・「市場を上回る成長」実現のため、ビジネスの主体をハードウェアからソフトウェア、融合ビジネスへ移行し事業拡大を目指します。また、成長市場への進攻に不可欠な次世代技術の確立に努めてまいります。

②グローバル市場における事業の拡大

- ・圧倒的な規模を有する先進国市場を中心に、今後大きな規模拡大が見込まれる新興国市場を視野にいれ、「ディーラー網及び直系販売網の拡大」と「地域別戦略商品の市場投入」等により、グローバル市場への進攻を加速してまいります。

③グループ総合力の最大化による構造改革の推進

- ・国内外の販売・サービス拠点の統合や各事業のもつ顧客基盤の相互利用等、グループの経営資源を最大限に活用することで事業拡大と効率化をすすめてまいります。また、製造拠点の集約、グローバル生産体制の最適化等により更なるコスト競争力の強化にも努めてまいります。

II. 事業体制改革

東芝テックでは、本年4月1日付にて事業体制を以下のように変更いたしました。

これは、「それぞれの事業のもつ顧客基盤や販売・サービス網を相互に最大限活用するとともにマーケットに適した商品創出が可能であり、かつ製造機能の集約・最適化等により更なるコスト競争力強化等を目指したもの」であります。

①システムソリューション事業本部

・国内市場向けPOSシステム、バーコードシステム、複合機及びそのソリューション関連商品

②ドキュメントソリューション事業本部

・海外市場向け複合機及びそのソリューション関連商品

③海外POS&AIプリンタ事業部

・海外市場向けPOSシステム、バーコードシステム、プリンタ及びそのソリューション関連商品

III. 中期経営計画における成果目標(連結)

(金額単位:億円)

摘要	09年度 (実績)	10年度 (目標)	12年度 (目標)
売上高	3,646	3,800	4,500
(内訳)			
システム・ソリューション	1,643	1,720	1,900
ドキュメント・ソリューション	1,720	1,772	2,200
海外POS&AIプリンタ	400	451	600
営業利益 (ROS)	97 (2.7)	120 (3.2)	225 (5.0)

(注)・セグメント別売上高はセグメント間の売上消去前を表示しております。

・上記計画は、対米ドル 90円、対ユーロ 120円を前提としております。

IV. 資源投入計画

①研究開発投資計画 3年間 800 億円

②設備投資・投融資計画 3年間 400 億円

(連結)	2009年度 (実績)	2012年度 (目標)
③人員計画	19,745 名	20,500 名

以上

この中期経営計画は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって記載内容と異なる場合があります。